

自民党都政から
こんどこそ
革新都政を

考証 革新都政

東京に憲法と自治が輝いたとき

—— 市民と野党の共闘の原点がそこにあった ——

1. 国連総会が核兵器を禁止し国際法を制定するの決議をめぐり、
2. 国連総会が核兵器を禁止し核拡散防止条約を採択すること、
3. 国連総会が核兵器を禁止し国際法を制定するの決議をめぐり、
4. 国連総会が核兵器を禁止し国際法を制定するの決議をめぐり、

In the name of the only nation victimized by the use of atomic bombs, we earnestly re-

quest you to make every possible effort and take effective initiatives so that the 50th Anniversary of the United Nations Organization will celebrate the following:

1. The General Assembly to adopt a resolution to promote the signing of an international convention on the prohibition of nuclear weapons.
2. The General Assembly to possibly urge the governments of nuclear-weapon-states to completely take effective measures to ban the use of nuclear weapons including all consultation of the use and threat of use of nuclear weapons against non-nuclear-weapon states and for the Assembly to adopt an International Convention prohibiting the use of nuclear weapons under all circumstances and making it absolutely clear that the use of an weapon in a strike and both against international law and against humanity for his law.
3. The General Assembly to set the earliest possible date for the World Disarmament Conference to be held, taking in the confidence of an International Agreement for Complete Nuclear Disarmament as one of the main items of the agenda.
4. The Secretary General of the United Nations to convene, in August, 1977 in Japan, International symposium on the testing and still-effects of the atomic bombing of Nagasaki, plus the risk-effects of nuclear explosion tests in the world, to enlighten the public in the whole world, and to awaken world public opinion demanding the elimination of nuclear weapons.

1976

職名 PROFESSION 東京都知事
 氏名 NAME 美濃部亮吉
 署名 SIGNATURE *Ryokichi Minomoto*

革新都政をつくる会

混迷する小池都政

50年前、本当の都民ファーストの都政があった

「東京空襲を記録する会」は、革新都政下の美濃部亮吉都知事に、大空襲資料集作りの援助を要請しました。呼びかけ人の私は、どうなるかハラハドキドキものでしたが、美濃部さんにはにこやかな表情で、快諾してくれました。この時ほど革新都政の恩恵を強く感じたことはありません。

早乙女勝元

はじめに

いまから五〇年前の一九六七年四月、発達した資本主義の国である日本の首都に、都民が主人公の革新都政が誕生しました。

革新都政誕生の原動力は、社共を軸とした統一戦線の結成と切実な都民要求及び運動、都議会汚職事件など伏魔殿都政と都民不在の自民党保守都政に対する都民の怒りでした。

首都での革新自治体の誕生は、国政に衝撃を与えるとともに、全国でつぎつぎと革新自治体が誕生する契機となりました。また、三期一二年の都政のなかで切りひらかれた先駆的施策は全国の自治体の指標となり、老人医療費助成など国をも動かす力となりました。

私は次の姿勢で都政を担当する決意です。

一、都民との対話を通じ、都民にわかる都政をつくっていく。できることとできないことをハッキリさせ、都民の納得を得て仕事をしていく。

二、考える知事であることを期する。問題がむずかしく、機構が複雑で、仕事が多ければ多いほど、都民の声なき声にも耳をかたむけ、考えることが必要である。

三、とはいえ、最大多数の都民の利益のため決断したことは、蛮勇をふるって実行する。もちろん、それらについて責任をもち、進退をいさぎよくする。

と革新都政になった美濃部亮吉都知事は立候補にあたって抱負を述べました。
では、革新都政はどのような挑戦をおこない、どのような施策を実現したのでしょうか。

憲法をくらしに生かす／ゆりかごから墓場まで／ポストの数ほど保育所を／15の春は泣かせない／障がい者（児）の希望者全員入学／おとしよりに温かい手をさしのべる／東京に青空をとりもどす／三多摩格差の解消／東京から火薬のにおいをなくす

革新都政が発信したこれらの政策は、おおくの都民の願いそのものでした。そしてこうした施策を実現、推進するうえでおおきな役割を果たしたのが、都民の力であり、住民自治の力だったのではないのでしょうか。

これはそれまでの明治以来の天皇制支配のもとでの官治主義（国の下部行政組織）をうち破って、「住民が主人公」の都政を実現する道でもあったのです。

今日、都政は石原都政以降、多国籍企業・大企業奉仕、新自由主義の都政運営によって、革新都政が築きあげた施策のおおくが後退させられ、「都政が見えない」といわれるように都民にとつての都政不在が現実のものとなっています。

私たちの先輩、先達がさまざま困難を乗り越えて実現させた革新都政。それは、都政の転換を願い、住民が主人公となる都政をめざす、今日の、私たちのたたかいに、すすむべき道筋を示し、おおくのことを教示してくれるのではないのでしょうか。

本書は、革新都政をつくる会の機関紙に三六回にわたって連載した「考証 革新都政」を再構成し、若干の加筆をくわえたものです。革新都政実現の力、その先駆性、今日に生かすべきとりくみについて、光をあてることができ、都政があるべき姿を考え、都民が主人公の都政の実現への一助となれば幸甚です。

卯月はじめ

明るい革新都政の実現を
 中村純之助さんの奔走
 に奮起する方闘者

おれたちもやるぞ
 テープ聞き強い決意

吉永小百合さんも
 『清潔で暮らしたい首都を。』

中村純之助さん、吉永小百合さん、そして多くの同志が、革新都政の実現のために奮闘された。その経緯と意義を、本書を通じて再考する。

赤旗 1967.04.06

《目次》

はじめに..... 3

日本のあたらしい夜明け

革新都政を生み出した力

都民の怒りと要求..... 20

政治を動かした都民の怒り／21
住民自治への道／22

統一戦線の方..... 23

対等・平等の統一戦線／24

伏魔殿都政への怒り..... 25

勝利を導いた政策協定..... 27

美濃部候補の九つの公約／28

革新都政二二年の礎に／29

革新都政がきり拓いたもの

地方自治..... 32

都民との対話からスタート／33

国の支配からの脱却／34

対話から参加へ……………35

自治体改革 都民に顔を向ける……………37

都民が主人公／憲法が生きる／都政の科学化、計画化／都民に顔を向ける／
国に対決／見えない建設／権限なき行政の展開

権利としての社会福祉……………43

民生費はわずか二・八％／44

「救貧対策」からの脱却／45

シビルミニマムの提起……………46

都民生活のあらゆる部門に／47

政権交代なき政策「転換」／48

社会平等の実現……………49

繁栄の陰に隠された貧困／50

革新都政の挑戦／51

東京に青空を……………52

公害のあいつぐ発生／53

画期となった都の公害行政／54

壮大な実験——都民との協働……………55

一〇〇名のマンモス委員会／57

自然の回復……………58

自然保護条例制定／60
 公園の整備／60
 生まれも育ちも革新都政／61
 緑化の推進／62

革新都政が実現したもの

ポストの数ほど保育所を……………64
 母親は家庭に帰れ／65
 つぎつぎと施策を実現／66
 全国にひろがった東京の保育……………66
 無認可保育所への助成／67
 ゼロ歳児保育／68
 保育所増設／68
 保育養成機関の増設／69
 高い保育料の抑制／69
 独自の都加算事業／69
 認可保育所助成の拡充／保母増員・保育時間延長／全員完全給食／公私格差是正／公立保育園補助……………70
 高齢者に政治の光をとどける……………70
 世界一の自殺率／71
 急増する高齢者／72
 先駆となった東京の高齢者福祉……………73
 世界に先駆けた総合施設／74

老人医療費無料化／75	
地域福祉のしくみづくり／76	
就労支援／77	
障害者に生きる権利を	77
都民運動を力に／78	
生活支援／社会参加／在宅支援／就労／医療／施設拡充／教育	
どの子にもゆきとどいた教育を	81
一五の春を泣かせない／82	
私学助成の実現／83	
公立学校での父母負担軽減／83	
希望者の全員入学／84	
文化・スポーツの花ひらく	85
住民が主体の社会教育／86	
うけつぐ伝統と文化／87	
芸術を都民のものに／88	
スポーツ要求に応える／88	
多摩・島しょに政治の光を	89
知事が直接、多摩・島しょ住民と対話／90	
三多摩格差八課題／91	
多摩・島しょでのシビルミニマム実現	92
東京都の事業の推進／92	
市町村への財政補完を通じたサービスの向上／93	

広域行政としての責務／94
離島住民の要求に応える／95

革新都政が守ったもの

都民のくらし.....	98
婦恋キャベツはじまる／99	
一般家庭は据え置き／100	
住まいの確保.....	101
シビルミニマムに位置づけ／103	
東京の産業と中小企業.....	105
岐路にたつ東京の産業／105	
都市型工業の振興／106	
業者の「命綱」の拡充／107	
都市農業の育成／108	
都民の安全.....	108
震災予防条例／110	
震災予防計画／110	
避難場所・避難路／111	
消防体制／111	

革新都政が挑んだもの

東京に青空と広場を……………	114
「青空と広場の東京構想（試案）」策定／	115
都民参加の都市づくり／	116
東京・都心一極集中の是正……………	117
都民のための都市改造／	118
都市づくりの7つの柱／	119
今日に残る先駆的事業／	120
生活機能の優先……………	121
一〇〇%普及めざして／	122
上水道／下水道／ゴミ戦争宣言	
都民が主人公の都市づくり……………	124
都民のための道路整備／	124
都民参加をつらぬく／	126
公営ギャンブルの廃止……………	127
自治体財政の健全化／	129
課税自主権のたたかい——財政戦争……………	130
自民党政府の財政攻撃／	131
課税自主権のたたかい／	132
軍国主義復活と対峙……………	133

都政の範囲を越えて／134
軍事基地から都民の広場へ／135

憲法を守りくらしに活かす

東京から火薬の臭いをなくす／138

生存権・幸福追求権の実現／139

どの子にもゆきとどいた教育を／140

都民が主人公の都政をふたたび

鈴木都政・四期（一九七九年～一九九五年）

青島都政・一期（一九九五年～一九九九年）

石原都政・四期目任期途中辞職（一九九九年～二〇一二年）

猪瀬都政・一期目任期途中辞職（二〇一二年～二〇一三年）

舛添都政・一期目任期途中辞職（二〇一四年～二〇一六年）

小池都政（二〇一六年～）

力をあわせ都政転換を／145

私と革新都政

都民で感謝と失望の日

都政と私

革新都政とともに歩んで

私と革新都政

早乙女勝元……………148

元保谷市長 都丸哲也……………150

元日本共産党都議会議員 朝倉篤郎……………152

元東京母親大会連絡会委員長 有園米子……………154

あの感激から半世紀 美濃部都政をふり返る	元都職労委員長 三栖義隆……………	157
公害防止に積極的に取り組む美濃部都政	東京農工大学・フェリス女学院大学名誉教授 本間 慎……………	159
参考文献……………		162
年表……………		164
発刊にあたって	中山 伸（「革新都政をつくる会」事務局長）……………	178